

東総広域水道企業団人事行政の運営等の状況の公表について

東総広域水道企業団職員の給与、勤務条件などの人事行政の運営等の状況について公表します。
この公表は、人事行政の運営等について、その公平性と透明性を高めることを目的に、地方公務員法第58条の2及び東総広域水道企業団人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき実施するものです。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員数の状況(4月1日現在)

区分	H26	H27	増減
職員数	22(1)人	23(0)人	1(△1)人
[条例定数]	[28人]	[28人]	[0人]

※ () は、再任用短時間勤務職員外書き

(2) 採用及び退職の状況(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

採用者数				
新規採用	中途採用	派遣	再任用	合計
2人	0人	0人	1人	3人

退職者数				
自己都合等退職	定年退職	派遣解除	再任用満了	合計
0人	0人	1人	1人	2人

(3) 年齢別職員構成(平成27年4月1日現在)

区分	20歳	20歳	24歳	28歳	32歳	36歳	40歳	44歳	48歳	52歳	56歳	60歳	計
	未満	～ 23歳	～ 27歳	～ 31歳	～ 35歳	～ 39歳	～ 43歳	～ 47歳	～ 51歳	～ 55歳	～ 59歳	以上	
職員数	0人	0人	1人	3人	1人	1人	4人	0人	1人	8人	4人	0人	23人
構成比	0.0%	0.0%	4.3%	13.0%	4.3%	4.3%	17.4%	0.0%	4.3%	34.8%	17.4%	0.0%	100.0%

※1 職員数は、一般職員及び再任用短時間職員の人数

2 構成比については、各級ごとに小数点第2位を四捨五入

(4) 級別職員数(平成27年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
標準的な職務	主事 技師	主事 技師	主任主事 主任技師	副主査	係長 主査	課長補佐	課長 主幹	事務局長	
職員数	1人	3人	2人	1人	9人	3人	3人	1人	23人
構成比	4.3%	13.0%	8.7%	4.3%	39.1%	13.0%	13.0%	4.3%	100.0%

※ 構成比については、各級ごとに小数点第2位を四捨五入

2 職員給与の状況

(1) 職員給与費の状況

ア 平成26年度決算

総費用 A	職員給与費 B	職員給与比率 B/A
1,617,624,451円	187,315,144円	11.6%

※ 職員給与費：一般職の職員に係る給料、手当、法定福利費（共済負担金、公務災害負担金等）

イ 平成27年度予算

職員数 A	職員給与費				1人当たり給与費 B/A
	給料	手当	期末・勤勉手当	計 B	
23(0)人	98,293,000円	15,295,000円	38,008,000円	151,596,000円	6,591,130円

- ※1 職員給与費は、当初予算に計上された額
 2 手当には、退職手当を含まない
 3 () は、再任用短時間勤務職員外書き

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額、平均年齢の状況（平成27年4月1日現在）

平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
354,977円	382,798円	46歳1ヶ月

※ 平均給与月額：給料月額に扶養・住居・通勤手当の月額を含む

(3) 職員の手当の状況

ア 退職手当（平成27年4月1日現在）

区分	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	21.620月分	27.025月分
勤続25年	30.820月分	36.570月分
勤続30年	38.180月分	44.850月分
最高限度額	52.440月分	52.440月分
その他の加算措置	退職前早期退職 特例措置 退職時特別昇給	定年前早期退職特例 措置(2~20%加算) なし
1人当たり平均支給額 (平成26年度決算)	なし	なし

イ 期末・勤勉手当（平成26年度）

支給期	期末手当	勤勉手当	計
6月	1.225月分 (0.650月分)	0.675月分 (0.325月分)	1.900月分 (0.975月分)
12月	1.375月分 (0.800月分)	0.825月分 (0.375月分)	2.200月分 (1.175月分)
計	2.600月分 (1.450月分)	1.500月分 (0.700月分)	4.100月分 (2.150月分)

※（ ）内は、再任用職員に係る支給割合

ウ 特殊勤務手当

区 分	全 職 種
支給総額（平成26年度決算）	344,800円
職員1人当たり支給年額（平成26年度決算）	24,629円
職員全体に占める手当支給対象職員の割合（平成26年度決算）	60.87%
手当の種類（手当数）	2種類
手当の名称	危険作業手当、復旧出勤手当

エ 時間外勤務手当

支給総額（平成26年度決算）	1,459,194円
職員1人当たり支給年額（平成26年度決算）	121,600円

オ その他の手当

手当名	支給内容	支給総額 (平成26年度決算)	職員1人当たり支給年額 (平成26年度決算)
管理職手当	<ul style="list-style-type: none"> 管理又は監督の地位にある職員 事務局長 月額75,200円 課長 月額57,500円 主幹 月額50,900円 課長補佐 月額41,600円 	3,687,180円	614,530円
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者 13,000円 配偶者以外の親族 1人目 <ul style="list-style-type: none"> 配偶者が扶養親族 6,500円 配偶者が扶養親族でない 6,500円 配偶者がいない 11,000円 2人目 6,500円 3人目以降 6,500円 16～22歳の子1人につき加算する額 5,000円 	3,438,000円	214,875円
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> 借家居住者 (家賃が12,000円を超える場合に限る) 家賃の額に応じて27,000円を限度に支給 	0円	0円
通勤手当	<ul style="list-style-type: none"> 交通機関利用者 定期券は、6ヶ月定期等最も経済的なもの 交通用具利用者 使用距離に応じて2,000円～54,300円を支給 	2,255,570円	107,408円
休日勤務手当	<ul style="list-style-type: none"> 祝日法による休日及び年末年始の休日において正規の勤務時間中に勤務した職員に支給 時間単価3.5割増×時間数 	12,872円	12,872円
夜間勤務手当	<ul style="list-style-type: none"> 正規の勤務時間として午後10時～翌日の5時までの間に勤務した職員に支給 時間単価0.5×時間数 	0円	0円

3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 職員の勤務時間

区分	勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
普通勤務 交替勤務の日勤	1日当たり7時間45分	8時30分	17時15分	12時00分～13時00分
交替勤務の夜勤	1勤務当たり14時間	17時00分	8時30分	1時間30分

(2) 休暇・休業制度

ア 有給休暇

種 別	内 容	日 数 等
年次休暇	1年につき20日間（新規採用職員は採用月に 応じて）付与される休暇	年度による1年：20日
療養休暇	傷病のため療養する必要がある、勤務しない ことがやむを得ないと認められる場合の休暇	公務又は通勤上の傷病：その療養 に必要と認める期間 結核性疾患：1年を超えない範囲 私傷病：90日を超えない範囲
特別休暇	結婚、出産、忌引など特別の事由により、勤 務しないことが相当である場合の休暇	その都度必要と認める期 間

イ 無給休暇・休業

種 別	内 容	日 数 等
介護休暇	配偶者、父母、子等が、負傷、疾病、老齢により 日常生活を営むのに支障がある場合に、これらの 者を介護するため勤務しないことが相当であると 認められる場合の休暇	連続する6月の期間内
育児休業	3歳未満の子を養育する職員に認められる休 業	子が3歳に達するまでの 連続した期間
部分休業	小学校就学前の子を養育する職員に認められ る休業	子が小学校就学の始期に 達するまで1日2時間を 超えない範囲

4 職員の分限及び懲戒処分状況

(1) 分限処分

分限処分とは、地方公務員法第28条に基づき、公務能率の維持と公務の適正な運営の確保を図るために、降任、免職、休職又は降給の不利益処分を行うことです。

平成26年度中に分限処分はありませんでした。

(2) 懲戒処分

懲戒処分とは、地方公務員法第29条に基づき、公務員としてふさわしくない非違行為を行った職員の道義的責任を追究することで服務規律の維持を図るために、戒告、減給、停職又は免職の不利益処分を行うことです。

平成26年度中に懲戒処分はありませんでした。

5 職員のサービスの状況

(1) 年次有給休暇の取得状況

区分	平均取得日数	取得率
平成26年度	13.6日	67.8%

(2) 育児休業・部分休業の取得状況

区分	育児休業		部分休業	
	取得者数	取得日数	取得者数	取得日数
平成26年度	0人	0日	0人	0日

(3) 地方公務員法の規定による職務上の義務に対する違反の状況（平成26年度）

職務上の義務	違反者数
法令等および上司の職務上の命令に従う義務	なし
信用失墜行為の禁止	なし
秘密を守る義務	なし
職務に専念する義務	なし
政治的行為等の制限	なし
争議行為等の禁止	なし
営利企業等の従事制限	なし

(4) 営利企業等の従事許可の状況（平成26年度）

区 分	申請件数	許可件数
地方公務員法第38条の規定に基づく営利企業等の従事許可申請	1	1

6 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1) 研修の状況（平成26年度）

公益社団法人日本水道協会のほか、外部機関が実施する研修に参加しています。

(2) 勤務評定の概要

評定の目的	職員の執務について統一的に勤務実績の評定を行って、人事上の公正な基礎資料とし、これを職員の能力育成の有効な指針とするとともに、能力に応じた適正な人員配置を行うことにより職員の勤労意欲の増進を促し、ひいては公務能率の向上を図ることを目的としています。
評定の方法	5段階絶対評価により年2回行っています。

7 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 福利厚生制度

職員の生活の安定と福祉の向上を図るため、健康保険や年金業務を行う千葉縣市町村職員共済組合に加入しています。また、職員の互助組織として、組合員（職員）の掛金で運営する東総広域水道企業団職員厚生組合を組織して福利厚生事業を実施しています。

東総広域水道企業団職員厚生組合の事業概要（平成26年度）

【共済給付事業】結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金、入学祝金、永年勤続者祝金など

【福利厚生事業】保健及びレクリエーションに関する事業など

《職員掛金 約月1,797円/人 企業団公費負担 なし》

(2) 公務災害補償制度

地方公務員災害補償法によって設置された法人である地方公務員災害補償基金が、職員が公務災害（負傷、疾病、障害又は死亡）又は通勤災害を受けた場合に、被災した職員の所属する地方公共団体に代わって災害によって生じた損害を補償し及び必要な福祉事業を実施しています。

平成26年度は公務災害の認定件数はありませんでした。

(3) 労働安全衛生

ア 一般健康診断（生活習慣病予防検査含む）

(ア) 検査内容 診察、血圧測定、尿化学検査、血液生化学検査、血液学的検査、胸部X線撮影、心電図検査、聴力検査、視力検査、身長・体重測定、胃部X線間接撮影、便潜血反応検査、眼底検査

(イ) 対象者 全員（胃部X線検査、便潜血反応検査及び眼底検査は希望者）

イ 特殊健康診断

(ア) 検査内容 有機溶剤：トルエン、ノルマルヘキサン、1・4ジオキサン
特定化学物質：クロム、酸類

(イ) 対象者 水質検査職員 5人